日本在宅ホスピス協会　全国大会に参加しました

10 月 31 日（土）、北九州市戸畑区のウェルとばたで開催された「日本在宅ホスピス協会　全国大会」に、大垣院長と看護師 4 名が参加しました。

当日は、北九州市内だけでなく、宮城県、山形県、岐阜県、大分県など全国各地から多くの方々が参加され、在宅医療・介護・福祉に関する発表や情報交換が行われました。

会場では、日頃から交流のある方々との再会もあり、事業所紹介ポスターの展示では、当院のポスターも目立つ場所に掲示していただきました。

午前中の市民公開講座では、岐阜県で在宅医療に取り組まれている小笠原先生の講演やディスカッションを聴講しました。在宅医療の現状や課題について学び、患者さんやご家族を支えることの大切さを改めて感じる機会となりました。

午後からは、各事業所による活動報告が行われ、院長と看護師でさまざまな発表を聴講しました。院長の在宅医療の師匠である、医療法人やまと　コールメディカル福岡の岩野先生（理事長）をはじめ、多くの先生方の取り組みを知ることができました。当院と共通する課題や参考になる取り組みもあり、今後の診療や運営に活かせる学びがたくさんありました。

また、岩野先生には当院の開院から 3 年間の歩みをご報告し、紹介ポスターの前で記念撮影も行いました。さらに、北九州市小倉北区の医療法人土倉内科循環器クリニックの土倉先生（理事長）とも初めて交流する機会があり、地域の在宅医療について貴重なお話をうかがうことができました。

今回の学会は、新しい知識を得るだけでなく、全国の在宅医療に携わる方々との交流や、当院のこれまでの歩みを振り返る絶好の機会となりました。

今回得られた学びや出会いを、今後のより良い医療・ケアの提供につなげていきたいと思います。

来年は大分県の湯布院で開催される予定です。当院からも学会発表を通し日頃の取り組みを発信できればと考えています。

今後とも、コールメディカルクリニック若松をよろしくお願いいたします。









